

# 各社の外国人の健康事情、健康診断の正確さの課題

## 1. 現地と日本の医療水準・健康診断のギャップ

- 現地で健康診断を受けて結果が良好であっても、日本で再度受診すると異常が見つかるケースが各社から報告された
- インドネシアでは怪我をした際に健康な靭帯を切って移植する手術が提案されるなど、日本とは医療に対する考え方や技術が異なる(北王GROUPさん)

## 2. 国ごとの特有の病気・健康状態の傾向

- インドネシアでは結核への感染事例が多い(ビューテック運輸さん)
- バングラデシュでは、面接ツアーで内定を出した28名中4名がB型肝炎にかかっていたことが判明し、内定辞退となった(船井総研SC)
- マレーシアでは、幼少期の栄養不足が原因で色覚異常となっているケースが多い(山藤運送さん)

## 3. 入国への影響

- 感染症などの保菌が判明した場合、規定により日本への入国ができなくなる可能性もあるため、事前の健康状態の把握が重要である

# 各社の外国人向け家賃補助・社宅制度の取り組み

## 1. 家賃補助で外国人を優遇し、半年で9名採用(首都圏物流さん)

- 日本在住外国人の採用を開始する際、「家賃は7割会社負担」という条件で募集を行った結果、半年間で日本在住外国人を9名採用した。日本人社員は家賃をほぼ自己負担している
- 現在は日本人社員からの反感を懸念し、家賃補助の条件を日本人社員と同じ「家賃はほぼ自己負担」に変更したところ、応募が一切来なくなった

## 2. 社宅の光熱費についての制度設計・外国人への説明(ビューテック運輸さん)

- 外国人向け社宅の光熱費について、会社が支払って給与から控除する方式で管理している
- 従業員が負担する額について、トラブル防止のため入社時に制度の説明を実施している

## 3. 外国人専用のシェアハウス型社宅の導入(山藤運送さん)

- 外国人用の社宅として、会社で一軒家を借り入れて、1人につき1部屋提供している
- 家賃は会社が立て替え、居住者の人数で割った額を給与から控除する方式で管理している
- 日本人に対しては導入していない

## 1.複数媒体にて外国人ドライバーの採用活動を発信した

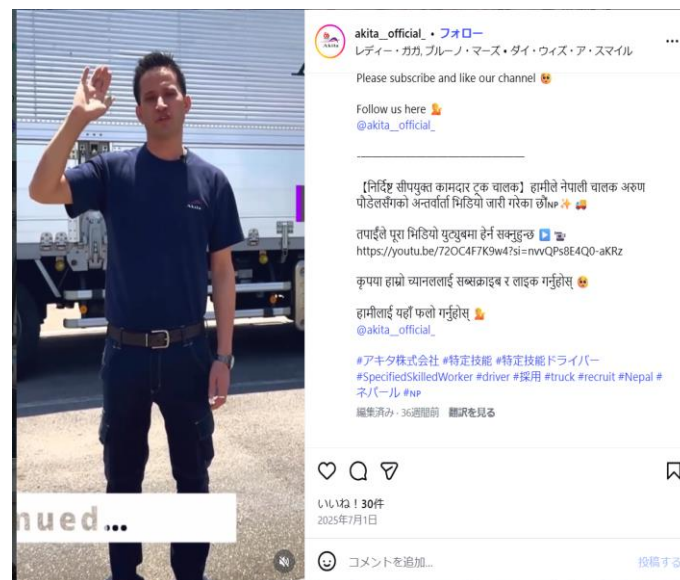
- PR TIMES、HPにて特定ドライバーの実働開始を発信した
- YouTube、Instagram、Facebookにて、外国人ドライバー向け案内動画を発信した
- 日本語版・英語版・ベトナム語版の3パターンで展開している

## 2.Youtube再生回数1,275回、Instagramいいね数30回だが、採用ターゲットの外国人への訴求として機能している

- 外国人応募者に応募のきっかけをヒアリングすると「動画を見た」という声が多い



2025.04.30  
「特定技能」で外国人ドライバーが誕生します！



## 1.外国人ドライバーの教育

- 2025年8月から外国人ドライバーの採用を開始してインドネシアから2名採用
- 外国人ドライバーは小学生の漢字ドリルを使って日本語を学習している
- 漢字ドリルの指導・添削は仕事から戻ってきたドライバーが自主的に指導する体制になっている
- 外国人ドライバー自身も、自身のキャリアアップのために勉強しており、日本人の先輩ドライバーも温かい心でサポートしてくれているため、良好な関係性が築けている

## 2.免許取得費用

- 大型免許取得にかかる費用について、ハローワークからの補助金（約10万円）やトラック協会の補助金（約12万円）を組み合わせ、残りの額を会社が立て替えるようにしている
- 免許費用を立て替える際に、「一定期間働けば、返済を免除」などのルールを設け、長く定着してもらうための仕組みづくりを検討している



## 1.実施事項

- バングラデシュから特定技能の整備士2名を受け入れた
- 社屋の最上階をリフォームして、15名程度が住める社宅を整備
- 支援機関とこまめに連携をとり、ラマダン中の食事の要望や、生活習慣への相談・指導を行った。

## 2.効果

- バングラデシュ人は非常に勤勉かつ誠実なため、仕事内容を順調に覚えている
- 直接は伝えにくい生活習慣への問題なども、支援機関を介して伝えることでスムーズに解決できている

## 2.今後の展望

- 現在整備士として働いている人材を、将来的に本人の希望を聞きながら、ドライバーの特定技能に切り替えていく予定
- 免許切替などの期間中は、倉庫内作業や先輩の横乗りを通じて、日本の仕事の基本や慣習などを知ってもらう期間に充てる予定

# 有限会社寿昇運さん、株式会社鳥羽運送さん 教育制度の拡充

## 1.有限会社寿昇運さん

- バングラデシュ人内定者を見据え、入国後の教育に向けた準備を進めている
  - 「運転マニュアル」や「社員教育マニュアル」の作成に着手している
  - 視覚的に分かりやすく伝えるため、書面だけでなく動画を用いたマニュアルを検討している

## 2.株式会社鳥羽運送さん

- 2025年8月に特定技能のインドネシア人ドライバーが4名入社した
  - 1名は外免切替を完了し、残る3名は在留期間内に免許取得を目指している
  - 免許取得前（在留期間6カ月以内）の期間についても、業務稼働に応じた日給を支給する雇用形態をとっている
  - この期間を「即戦力化のための準備期間」と位置づけ、以下の教育を重点的に実施している
- 実務の教育
  - 免許取得までの期間を活用し、横乗り研修を実施
    - 実際の荷物の積み下ろし手順や日報の書き方などを指導している
- 日本語教育
  - 就業後に1時間の学習時間を設け、毎日小学生向けの漢字ドリルを5ページずつ実施している
    - テスト問題で8～9割の正答率を獲得できれば、次の学年レベルへ進ませている
  - 日本人ドライバーもボランティア感覚で協力しながら進めることができている